

作成日：2025年2月19日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：**クロミカラー示温ペン用インキ**  
供給者の会社名称：株式会社 松井色素化学工業所  
住所：〒607-8345 京都市山科区西野離宮町 29 番地  
担当部門：技術開発部  
電話番号：075-595-5533  
メールアドレス：msc\_information@msc-color.co.jp

### 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類：  
物理化学的危険性 引火性液体： 区分 2  
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2  
皮膚感作性： 区分 1  
誤えん有害性： 区分 1  
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期（急性） 区分 1  
水生環境有害性 短期（慢性） 区分 1

#### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険  
危険有害性情報： 引火性の高い液体および蒸気  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き： [予防策]  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
取扱後は、手をよく洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。

## [対応]

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

## [保管]

・施錠して保管すること。

## [廃棄]

・内容物、容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： 熱変色性マイクロカプセル含有ペン用インキ

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS 番号
エチルシクロヘキサン	50.9%	1678-91-7
ビスフェノール A	1.14%	80-05-7
ホルムアルデヒド	<0.1%	50-00-0
その他の成分	残	非公開

### 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合： 製品に触れた部分を水又はぬるま湯を流しながら石鹼で洗浄すること。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断・手当てを受けること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。  
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

---

## 5. 火災時の措置

---

適切な消火剤：	泡消火剤、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂。
使ってはならない消火剤：	冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
特有の危険有害性：	加熱すると容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、有毒又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
特定の消火方法：	消火作業は風上から行う。危険でなければ容器を火災区域から移動させる。 周囲の設備等に散水して冷却する。関係者以外は安全な場所に退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。 消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、火災状況に応じて保護具を着用する。 適切な呼吸保護具を用いる。 適切な防護服、保護手袋、および保護メガネ/顔面保護具を着用すること。

---

## 6. 漏出時の措置

---

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具を着用する。回収が終わるまで十分な換気を行う。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川や湖沼へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 大量に公共水域に流入した場合は、消防署、保健所等に直ちに連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて空容器に回収した後、 残りをウエス、ぞうきん等でよく拭き取る。 大量の場合は、盛り土、毛布、土嚢等で囲って流出を防止し、スコップなどで空容器 に回収する。
二次災害の防止策：	静電気、火花を発生しない安全な用具を使用する。適切な消火剤を準備する。 可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

技術的対策：	皮膚・粘膜に触れたり目に入ったりしないように、保護手袋、保護眼鏡等、必要に応じて保護具を着用する。換気のよい場所で取り扱うこと。 作業環境を管理濃度及び許容濃度以下に保つ。みだりに蒸気を発生させない。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
局所排気・全体換気：	屋内で使用する場合は、防爆型の局所排気装置を設置すること。

安全な容器包装材料： 火気厳禁。

#### 保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に密閉して施錠できる場所に保管する。

安全な容器包装材料： 水不浸透性の容器包装材料を使用する。

---

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 屋内で使用する場合は、防爆型の局所排気装置を設置する。

管理濃度： ホルムアルデヒド 0.1 ppm

許容濃度： ホルムアルデヒド 0.1, 0.2 ppm (最大許容濃度)  
0.12, 0.24 mg/m<sup>3</sup> (最大許容濃度)

#### 保護具

呼吸器の保護具： 空気呼吸器を着用する。

手の保護具： ゴム製手袋、樹脂製手袋

目の保護具： 普通眼鏡型保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて長袖作業着、長靴等を着用する。

---

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態： 液体

色： 青色 (熱可逆変色性を示す)

臭い： わずかに特異臭

融点： 情報なし

沸点： 情報なし

可燃性： 情報なし

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界： 情報なし

引火点： 情報なし

自然発火点： 情報なし

分解温度： 情報なし

pH 情報なし

動粘性率： 45~60mPa・s

溶解度： 水に不溶。

n-オクタノール/水分配係数： 情報なし

蒸気圧： 情報なし

密度及び/又は相対密度： 0.86 ± 0.05 g/cm<sup>3</sup>

相対ガス密度： 情報なし

粒子特性： 情報なし

---

## 10. 安定性及び反応性

---

反応性：	情報なし
化学的安定性：	通常の取扱い条件下では安定である。極めて引火性が高い。
危険有害反応可能性：	特になし。
避けるべき条件：	過熱、火花、裸火、直射日光。
混触危険物質：	強力な酸化剤、強力な還元剤、過酸化物。
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素

---

## 11. 有害性情報

---

急性毒性：	LD50>5,000 mg/kg (計算データ)
皮膚腐食性/刺激性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	強い眼刺激がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
生殖細胞変異原性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
発がん性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
生殖毒性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
誤えん有害性：	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある。
局所効果：	長時間皮膚に付着したままにしておいたり、皮膚の敏感な人に対しては、まれにかぶれをおこす場合がある。

---

## 12. 環境影響情報

---

生態毒性：	水生生物に非常に強い毒性がある。 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性がある。
残留性・分解性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
生体蓄積性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
土壤中の移動性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。
オゾン層への有害性：	区分に該当しない、もしくは情報なく分類できない。

---

## 13. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
--------	--

汚染容器・包装： 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。  
 ヒト健康、安全及び環境に配慮し、空き容器／包装等をリサイクルすることが望ましい。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

海上規制情報： IMOの規定に従う。  
 航空規制情報： ICAO、IATAの規定に従う。  
 国連番号： 1210  
 国連品名： 印刷用インク又は印刷用インク関連物質  
 国連分類： クラス3（引火性液体類）  
 容器等級： II

##### 国内規制

陸上規制情報： 消防法、道路交通法の規定に従う。  
 海上規制情報： 船舶安全法の規定に従う。  
 航空規制情報： 航空法の規定に従う。  
 安全対策及び条件： 引火性液体のため火気厳禁。  
 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。  
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。  
 輸送中は消火器及び保護具を携帯する。車両等により運搬する場合は、荷受人に  
 運送注意書やイエローカードを携帯させる。  
 応急措置指針番号： 128

#### 15. 適用法令

##### 消防法：

（第2条 危険物） 第4類 引火性液体第1石油類非水溶性液体 危険等級 II

##### 毒物及び劇物取扱法：

（第2条 毒物） 該当しない。

（第2条 劇物） 該当しない。

（第2条 特定毒物） 該当しない。

##### 労働安全衛生法：

（第57条 表示物質） エチルシクロヘキサン 50.9%含有

ビスフェノール A 1.14%含有

（第57条の2 通知物質） エチルシクロヘキサン 50.9%含有

ビスフェノール A 1.14%含有

（有機溶剤中毒予防規則） 該当しない。

（特定化学物質等障害予防規則） 該当しない。

（皮膚等障害化学物質等） ビスフェノール A 1.14%含有

化学物質管理促進法：

(特定第一種指定化学物質)	該当しない。	
(第一種指定化学物質)	エチルシクロヘキサン	50.9%含有
	ビスフェノール A	1.14%含有
(第二種指定化学物質)	該当しない。	

化審法：

(第一種特定化学物質)	該当しない。
(第二種特定化学物質)	該当しない。

---

## 16. その他の情報

---

この安全データシートは、当社が現時点で入手できた情報及び知見に基づいて作成されたものであり、ここに記載されている危険予防策並びに手段、解釈がこれらのみ限定されるものではありません。これらの注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、製品の特殊な使用に関しては、当社はその責任を負いません。また、危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。